

## 液化石油ガス燃焼器接続用継手付ホースに係る技術基準の改正について(案) - 大口径燃焼器ホースの追加 -

平成18年 1月  
高圧ガス保安協会  
液化石油ガス部

### 1. 主旨等

ファミリーレストラン・ファーストフード等の業務用厨房機器を使用する店舗においては、病原性大腸菌O-157等による食中毒予防策として、HACCP (hazard analysis and critical control point)を導入するなど、厨房内の衛生管理強化が進められてきており、この衛生管理強化策の一環として、業務用厨房機器を移動させて清掃を実施することが要求される場合がある。

清掃時にLPガス業務用厨房機器を移動するためには、容易に脱着可能な迅速継手付きの燃焼器接続用ホースが不可欠となるが、業務用厨房機器のようにLPガスを大量消費する燃焼器に対応した大口径(15A~25A)の迅速継手付燃焼器接続用ホースの技術基準は、現在、整備されていない。

このため、大口径の燃焼器接続用ホース及び迅速継手に係る材料、構造、性能、耐久性等に関する技術上の基準及び検査の方法を整備し、大口径の燃焼器接続用ホースの普及を図るため、高圧ガス保安協会基準「液化石油ガス燃焼器接続用継手付ホース技術基準(KHK S 0 7 2 1)」を改正する。

改正に当たり器具省令関係基準分科会(主査 小川輝繁 横浜国立大学教授)において改正原案を審議し、当該改正原案を液化石油ガス規格委員会に上申することが決議された。

注: HACCP (hazard analysis and critical control point) 危害分析重要管理点

最終製品の検査を中心とする管理手法ではなく原料から製造工程に亘って、発生の可能性のある危害をリストアップし、特に重点的に管理すべき点について監視し、その結果を記録に残すことで危害の発生を未然に防止する手法。

### 2. 検討方針

液化石油ガス規格委員会(委員長 坪井孝夫 横浜国立大学教授)において液化石油ガス燃焼器接続用継手付ホース技術基準(KHK S 0 7 2 1)の次に掲げる事項について検討する。

大口径の燃焼器ホースの構造は、迅速継手に限った基準とはしない。

大口径の迅速継手の材料は、金属材料に限定する。

大口径の迅速継手の基準は、「液化石油ガス燃焼器接続用継手付ホース技術基準(KHK S 0 7 2 1)」の附属書として規定する。

大口径の迅速継手付燃焼器用ホースは、「供給設備、消費設備及び特定供給設備に関する技術基準等の細目を定める告示(平成9年3月13日通商産業省告示第123号)(以下「供給設備等告示」という。)」第8条に規定されていないため当該告示改正原案についても並行して検討する。

### 3. スケジュール

器具省令関係基準分科会	平成17年11月22日
液化石油ガス規格委員会	平成18年 1月13日
書面投票	平成18年 1月24日~平成18年2月7日
液化石油ガス規格委員会承認後パブリックコメントを実施(期間: 1ヶ月間)	